参考資料

宗像市営渡船　事業概要

1 航路の沿革

(1) 大島～神湊～地島航路

大島から神湊に渡る海上交通の歴史は、江戸時代から明治までは櫓で漕ぎ、片道 4 時間を要したといわれている。明治末期になると船も大きくなり、所要次第で船支度をした。大正初期には、大島の渡海屋が事業を営み、大正11年に宮坂丸が就航して時間が短縮された。昭和５年から 12 年までは大島丸が魚の運搬をかねて渡海事業にあたった。公営渡船としては、昭和12年4月から第 1 弁天丸(15トン)が就航した。昭和27年5月から第2弁天丸、昭和33年7月から第3弁天丸、昭和43年9月から第5弁天丸、昭和56年7月には観光客増加への対応や産業振興のため、大島に初めてのフェリーおおしま(196 トン)が就航し、島の物資流通や観光客に大きな変化をもたらした。昭和 63 年1月には高速船「しおかぜ」が就航し 2 隻体制となった。平成7年4月から 2 代目フェリーおおしま(194トン)が就航。平成 21 年 2 月から2代目高速船しおかぜ(87トン)が就航、 平成 29 年 10 月に3代目フェリーおおしま(198トン)が就航している。

(2) 地島～神湊航路

地島の海上交通の歴史は、江戸後期からあり、宝永丸、宝来丸という三百石の船が、広島や大阪方面に米を運んでいたということである。昭和 2 年ごろ、地島丸(9トン)が地島経営として活躍していたが、赤字経営であったため、昭和 38 年 8 月 1 日から玄海町の経営となり、玄海丸(17トン)が就航した。昭和45年2月から第2玄海丸、昭和61年4月から第3玄海丸が就航、平成13年4月から「ニュージのしま」(55トン)が就航している。

(3)航路再編

平成24年2月に航路再編を行い、本土側の寄港地を神湊港に集約。平成24年10月に神湊渡船ターミナルを建て替えている。これにより地島航路は航路距離が7.5キロと従来に比べ2.7キロ増加した。

◆平成24年2月1日　航路再編前後ダイヤ変更

	旧 (平成 24 年 1 月 31 日まで)	新 (平成 24 年 2 月 1 日から)
大島航路	3月～11月の日曜、祝日は8便／日 それ以外は7便／日 ※1 月 1 日～3 日は第1、第7便は運休	通年7便／日 ※1 月 1 日～3 日は第1、第7便は運休
地島航路	5便／日 ※1 月 1 日は地島発 10:00、16:00 神湊発 11:30、17:00 1 月2日～3 日は第1、第6便は運休	6便／日 フェリー便(月2回) ※1 月 1 日は地島発 10:00、16:00 神湊発 11:30、17:00 1 月2日～3 日は第1、第6便は運休

2 指定区間サービス基準

整理番号	指定区間名		サービス基準					
	指定区間名	二地点間	運航日程	運航時刻		各運航ごとの最低輸送能力		
				運航回数往復／日	始発着終発	旅客（人）	乗用車（台）	貨物（㎥）
181	地島	地島漁港と鐘崎漁港又は神湊漁港との間	毎日	4往復／日	07:30以前 18:00以降	30	－	－
			1月1日、2日、3日及び使用船舶の定期的整備・検査に要する期間はこの限りではない。					
182	福岡大島	大島漁港又は大島港と神湊漁港との間	毎日	6往復／日 内自動車航送4以上	07:30以前 18:00以降	120	10	－
			1月1日、2日、3日及び使用船舶の定期的整備・検査に要する期間はこの限りではない。					

3 保有船舶と運航体制

令和８年10月１日現在

使用船舶	種別・船名 就航年	旅客船「ニュージのしま」 平成13年就航	旅客船「しおかぜ」 平成21年就航	フェリー「おおしま」 平成29年就航
	総トン数	55トン	87トン	198トン
輸送能力	旅客（人）	100人（最大150人）	179人	244人
	乗用（台）	－	－	10台
運航体制	乗組員	4人（定員5人）	4人（定員5人）	5人（定員6人）
	勤務時間	6:30～18:50 （9時間30分勤務）	6:30～19:30 （12時間勤務）	
	職員数 （内訳）	8人 （正職員8人）	15人 （正職員13人・臨時職員２人）	

4 旅客運賃

●参考資料　別紙①：旅客運賃、航路別渡船運賃改定状況表

5 利用者の推移・財政状況

●参考資料　別紙②：渡船利用者等の推移（決算カード）

●参考資料　別紙①

旅客運賃

(1)片道旅客運賃

令和元年10月１日適用

航　路	区　間	大　人	小　児
地島神湊航路	白浜港～神湊港	410円	210円
	泊港～神湊港	380円	190円
	白浜港～泊港	130円	70円
大島神湊航路	大島港～神湊港	570円	290円

(2)往復旅客運賃(旅客が大島又は地島から同一区間を往復する場合の運賃)

令和元年10月１日適用

航　路	区　間	大　人	小　児
地島神湊航路	白浜港から神湊港まで往復	640円	320円
	泊港から神湊港まで往復	570円	290円
	白浜港から泊港まで往復 又は泊港から白浜港まで往復	230円	120円
大島神湊航路	大島港から神湊港まで往復	1,000円	500円
備考　乗船券のうち復乗船券の有効期間は、発行の日から7日間とする。			

航路別渡船運賃改定状況表

(1)地島航路渡船大人運賃改定状況

改定年	白浜～鐘崎 4.8km		泊～鐘崎 2.8km		白浜～泊 2.0km	
	運賃(円)	改定率%	運賃(円)	改定率%	運賃(円)	改定率%
昭和 61 年	270	—	230	—	100	—
平成 4 年	300	11.1	260	13.0	120	20.0
平成 13 年	360	20.0	320	23.1	160	33.3
航路再編	白浜～神湊 6.0km		泊～神湊 5.5km		白浜～泊 2.0km	
改定年	運賃(円)	改定率%	運賃(円)	改定率%	運賃(円)	改定率%
平成 24 年	390	8.3	360	12.5	130	△18.75
平成 26 年	400	2.6	370	2.8	130	0.0
令和 元 年	410	2.5	380	2.7	130	0.0

昭和 61 年 4 月 第3玄海丸 就航
平成 13 年 4 月 ニュージのしま 就航
平成 24 年 2 月 航路再編
平成 26 年 4 月 消費税率改正で改定
令和 元 年10月 消費税率改正で改定

(2)地島航路渡船キロ当り大人運賃

改定年	白浜～鐘崎 4.8km		泊～鐘崎 2.8km		白浜～泊 2.0km	
	運賃(円)	円／km	運賃(円)	円／km	運賃(円)	円／km
昭和 61 年	270	56.3	230	82.1	100	50.0
平成 4 年	300	62.5	260	92.9	120	60.0
平成 13 年	360	75.0	320	114.3	160	80.0
航路再編	白浜～神湊 6.0km		泊～神湊 5.5km		白浜～泊 2.0km	
改定年	運賃(円)	円／km	運賃(円)	円／km	運賃(円)	円／km
平成 24 年	390	65	360	65.5	130	65.0
平成 26 年	400	66.7	370	67.3	130	65.0
令和 元 年	410	68.3	380	69.1	130	65.0

(3)大島航路渡船運賃改定状況及びキロ当り運賃

改定年	大島～神湊　8.5km 大人運賃(円)	改定率　%	円／km
昭和 56 年	300	―	35.3
平成元年	350	16.7	41.2
平成元年	360	2.9	42.4
平成 4 年	400	11.1	47.1
平成 7 年	500	25.0	58.8
平成 24 年	550	10.0	64.8
平成 26 年	560	1.8	65.9
令和 元 年	570	1.8	67.1

昭和 56 年 7 月　フェリーおおしま 就航
昭和 63 年 1 月　しおかぜ 就航
平成 7 年 4 月　新フェリーおおしま就航
平成 21 年 2 月　しおかぜ就航(改定据え置き)
平成 24 年 2 月　航路再編で改定
平成 26 年 4 月　消費税率改正で改定
令和 元 年10月　消費税率改正で改定